

News release

スイス・リー、2017年第1四半期の純利益は6億5600万米ドルと好調

- グループの2017年第1四半期の純利益は、サイクロン「デビー」で見込まれる支払保険金3億5000万米ドルを差し引いた後でも6億5600万米ドルと好調
- 損害再保険事業の純利益は3億2100万米ドル、株主資本利益率は10.8%で、4月の契約更改後も同事業のポートフォリオは魅力を維持
- 生命・医療再保険事業の純利益は1億9300万米ドル、株主資本利益率は11.6%で、安定した収益が継続
- コーポレート・ソリューションズの純利益は5500万米ドル、株主資本利益率は10.1%、マレーシアに新事務所を開設
- ライフ・キャピタルは総キャッシュフロー3億3600万米ドル、純利益7300万米ドル、株主資本利益率3.9%と好調で、オープン・ブック業務が引き続き魅力的な伸びを示す
- 質の高い資産ポートフォリオの投資収益率は3.4%と好調、直接利回りは2.9%と2016年度末以来安定
- スイス・リー・グループの資本基盤はSST比率262%と非常に強固な状態を維持、市場機会に対応する態勢は十分

チューリッヒ、2017年5月4日 - オーストラリアを襲ったサイクロン「デビー」で見込まれる支払保険金および厳しい事業環境から受ける圧力にもかかわらず、スイス・リー・グループは2017年第1四半期に6億5600万米ドルという好調な純利益を計上しました。株主資本利益率(ROE)は年率換算で7.5%となり、これは料率にかかる圧力や低金利、自然災害による損失といった厳しい環境の中でもスイス・リーが収益を生む力を持っていることを示しています。グループの資本基盤はSST比率262%と非常に盤石な状態を維持しており、スイス・リーは引き続き資本管理の重要課題に注力し続ける一方、市場機会に対応する態勢を十分に整えています。業績をより長期的な視点から見るため、そして欧州全域の会計報告基準における最近の変更に合わせて、スイス・リーは第1四半期および第3四半期の財務報告の形式に変更を加えていることをご了承ください。

スイス・リー・グループの最高経営責任者であるクリスチャン・ムーメンターラーは次のように述べています。「厳しい市場環境であることを考えれば、第1四半期の当社の業績は満足できるものでした。当社は収益の見込めない事業を受け入れないことで、業界全体にかかり続ける保険料率に対する圧力に立ち向かってきました。そのことは、当社の事業収益に明確に

Media Relations,
Zurich
Telephone +41 43 285 7171

New York
Telephone +1 914 828 6511

Hong Kong
Telephone +852 2582 3660

Investor Relations,
Zurich
Telephone +41 43 285 4444

Swiss Re Ltd
Mythenquai 50/60
P.O. Box
CH-8022 Zurich

Telephone +41 43 285 2121
Fax +41 43 285 2999

www.swissre.com
[@SwissRe](https://twitter.com/SwissRe)

現れています。当社の質の高い投資ポートフォリオも、引き続き業績全体に大きく貢献しています。サイクロン「デビー」のような自然災害は、短期的には当社の業績に大きな影響を与えますが、何よりも人々の命を奪い、インフラを破壊し、経済を弱体化させます。同時に、このような自然災害は保険業界全体の目的を一層際立たせます。このような時にこそ、私たちは当社の本来のサービスを提供し、当社がお客様や社会に対して提供している価値を示すことができるのです。」

厳しい環境の中でも業績が好調だった第1四半期

スイス・リーは2017年第1四半期の業績が純利益6億5600万米ドルと好調であったことを発表しました。減益とはなりましたが、その主な要因はサイクロン「デビー」に襲われた後に見込まれる支払保険金によるものでした。加えて、前年同期に業績を下支えしたライフ・キャピタルの大規模な一度限りの実現利益は継続しませんでした。全体として、スイス・リーではサイクロン「デビー」による支払保険金額がグループレベルで約3億5000万米ドルにのぼると見込んでおり、そのうち約3億2000万米ドルが損害再保険事業部によって、約3000万米ドルがコーポレート・ソリューションズによって負担される予定です。

当グループは、当社事業への投資を続け、第1四半期の株主資本利益率は年率換算で7.5%となりました。これは、いまだに低金利と世界的な経済成長の低迷が特徴となっている現在の環境の中で実現されたものです。グループの投資収益率(ROI)は年率で3.4%、債券の直接利回りは2.9%でした。

同四半期の総収入保険料は10.5%減の102億米ドルとなりました。これはスイス・リーが厳格な引受アプローチをとり、資本を配分するリスクプールを慎重に選定したことが要因です。為替変動の影響を除いた場合、減少は8.8%となります。

スイス・リーの資本基盤は引き続き非常に強く、グループの2017年のスイス・ソルベンシー・テスト(SST)比率は262%へ若干上昇しています。スイス・リーの遵守レベルである220%を十分に上回り、さらに昨年の値よりも1ポイント上昇しています。連邦金融市場監督機構(FINMA)は最近、SST比率がソルベンシーIIにより近くなるようにするため、SST比率の算出方法を変更しました。2016年に報告した223%には当該変更が反映されています。スイス・リーは引き続き資本管理の重要課題に注力しながら、いかなる逆風をものしのごことのできる十分な態勢を整えています。

グループの最高財務責任者であるデビッド・コールは次のように述べています。「第1四半期の良好な業績は、当社が事業の長期的な価値に投資を続けながらも、厳しい市場環境の中で収益を上げる力を持っていることを示しています。当社の資本基盤は引き続き非常に盤石で、責任準備金も変わらずに潤沢です。厳格な引受基準を採用することで、当社の将来的な成功を後押しすると確信できる機会を厳選して資本を配分することが可能となっています。」

損害再保険の業績はサイクロン「デビー」で見込まれる支払保険金の影響を受ける

サイクロン「デビー」で予想されている支払保険金額は3億2000万米ドルにのぼり、これが第1四半期の損害再保険事業部の業績に影響を及ぼしました。オーストラリアの保険各社が販売する住宅・家財保険の大部分がサイクロン被害の補償を含むことから、再保険カバーは個人および企業の復興の一助となります。

それでも第1四半期の純利益は3億2100万米ドルと好調で、株主資本利益率は年率で10.8%となりました。自然災害の損失の一部は良好な過年度実績により相殺されたため、コンバインド・レシオはわずかに上昇して95.6%となりました。

料率環境が引き続き厳しい中、スイス・リーは厳格な引受アプローチをしっかりと守り、提供する補償に対して適正な保険料を確保しています。第1四半期の総収入保険料は17.6%減少して58億米ドルとなりましたが、これは料率が収益予想に見合わないことなどを理由として、特にEMEA(欧州・中東・アフリカ)地域と中国における比例再保険事業を中心に、引受余力(キャパシティ)を積極的に縮小した結果でした。為替変動の影響を除いた場合、減少は15.6%となります。

第1半期の重要なマイルストーンは、2月にスイス・リーの新たなインド支店をムンバイに開設したことでした。当社は、インドで再保険を販売する認可を取得した最初の外国再保険会社5社のうちの1社となりました。インドの保険セクターは、2017年から2025年までの間に年率平均8%の割合で成長することが見込まれています。これにより、スイス・リーは損害保険および生命・医療保険の各再保険ソリューションを国内のお客様およびブローカーに直接販売することが可能となります。

4月の契約更改でも魅力あるポートフォリオを維持

4月の契約更改でもスイス・リーは引受基準を守り、収益予想の達成が困難な事業におけるキャパシティを縮小させました。保険料ボリュームは2%の減少となりました。年度累計のリスク調整済み適性料率は101%のままで、1月の更改期から横ばいです。これは、スイス・リーが目標とする今期のグループROEを達成するためのハードルレートを上回っています。スイス・リーは、大口契約やテ일러メイド型の契約に支えられ、魅力的なポートフォリオを維持しています。

生命・医療再保険は良好な実績が継続

生命・医療再保険事業は、第1四半期に1億9300万米ドルの好調な純利益を計上しました。年率換算した株主資本利益率は11.6%で、スイス・リーが当事業部門について設定した今期の目標レンジである10~12%の上限に近い結果となりました。当期業績は、米国の個人向け生命保険事業で数件の高額クレームがあったこと、および、為替差益が減少した影響を受けましたが、安定した投資収益の恩恵を受けました。第1四半期の確

定利付債券の直接利回りは3.4%と、2016年通期と比べて安定した状態にあります。

同四半期の総収入保険料は、グループ内再々保険契約の一部に変更があったこと、および外国為替レートの変動を主な原因として、前年同期よりも若干減少しました。契約の変更と為替の影響を調整すると、保険料は2.2%上昇しており、これは生命・医療再保険事業が引き続き魅力的な成長機会を提供していることを物語っています。

コーポレート・ソリューションズはサイクロン「デビー」の損失にもかかわらず好調な業績を発表

スイス・リーのコーポレート・ソリューションズ事業部は、第1四半期に5500万米ドルの好調な純利益を計上しました。この業績は主に、およそ3000万米ドルの支払保険金の発生が見込まれているサイクロン「デビー」の影響を受けました。第1四半期の年率投資収益率は10.1%でした。

総収入保険料は、2017第1四半期に10.8%減少して7億1700万米ドルとなりました。前年同期の保険料ボリュームは、IHCリスク・ソリューションズLLCの買収による恩恵も受けました。さらに、景気サイクルに関連した料率圧力もコーポレート・ソリューションズが積極的に事業展開する多くの市場で継続しました。第1四半期のコンバインド・レシオは99.6%でした。

魅力的な長期的成長に対する投資戦略の一環として、コーポレート・ソリューションズはアジアで拠点を拡大し、2017年3月に新しい事業所をクアラルンプールに開設しました。同事業所はマレーシアの大企業から中規模の企業にサービスを提供します。

ライフ・キャピタルの総キャッシュフローも好調

ライフ・キャピタルは、キャッシュフローを最適化するための戦略を引き続き実践しています。2017年第1四半期の総キャッシュフローは、3億3600万米ドルにのぼる好調を記録しました。これは英国におけるReAssure事業から新たに発生する剰余金と、昨年度末の法定評価の確定の恩恵を反映しています。

また、同事業部門は7300万米ドルの純利益を計上しました。予想されたとおり、2016年第1四半期に計上された大規模な一度限りの投資ポートフォリオからの実現利益は継続しませんでした。当該第1四半期の年率投資収益率は3.9%でした。

当四半期の総収入保険料は、オープン・ブック事業の伸びにけん引されて6億5200万米ドルとなりました。これは、ライフ・キャピタルが生命・医療市場における、魅力的で成長しつつあるリスクプールへのスイス・リーのアクセスを増やしていることを示しています。

未来に向けた戦略的優先事項

スイス・リーは、魅力的なリスクプールに資本を配分するために新鮮な視点と独自の知識を駆使しています。当社は研究開発活動への投資を継続し、リスク・ナレッジ・カンパニーとしての地位をさらに強化していきます。2017年3月のスイス・リー・インスティテュートの設立はその一環です。この機関は、サイバーリスクから食の安全に至るまで、業界の差し迫ったテーマについての研究調査に重点を置き、世界的なプロテクション・ギャップを埋めるうえでスイス・リーが社会を支援する手助けをしています。

4月に発表された、アジア地域に特化した再保険事業部門の現地法人をシンガポールに設立する計画は、アジアにおける当社の継続的なコミットメントを示すものです。地域最大手の再保険事業者のひとつとして、スイス・リーはこれからも当社が持つグローバルな知識を現地や業界のニーズに対するより深い洞察と組み合わせ、お客様やパートナーの利益に資することができるよう努力を続けていきます。

その努力が、スイス・リーの既存の戦略的枠組みを上手に適用することと合わせた相乗効果により、当グループが市場の課題に対処し、補償のニーズと同時に浮上するチャンスをつかむための有利な態勢を整えることとなります。

スイス・リー・グループの最高経営責任者であるクリスチャン・ムーメンターラーは次のように述べています。「当社ではリスクプールは拡大し続けると考えていますが、総じて気を引き締めていかなければならない環境になると予想しています。当社で受け入れるリスクについては、これからも選定していくつもりです。当社独自のお客様との関係、強い資本基盤、リスクについての深い知識が、お客様や社会全体のために当社の力を役立てることを可能にしています。」

第1四半期の主なデータ(2016年Q1 vs 2017年Q1)

		2016年 第1四半期	2017年 第1四半期
グループ連結(総額)¹	総収入保険料(百万米ドル)	11 395	10 199
	純利益(百万米ドル)	1 229	656
	株主資本利益率(年率%)	14.6	7.5
	投資収益率(年率%)	3.7	3.4
	直接利回り(年率%)	3.0	2.9
	普通株主資本 (百万米ドル)	34 827	35 126
	SST 比率(%) ²	261	262
損害再保険	総収入保険料(百万米ドル)	7 008	5 778
	純利益(百万米ドル)	587	321
	コンバインド・レシオ(%)	93.3	95.6
	株主資本利益率(年率%)	19.1	10.8
生命・医療再保険	総収入保険料(百万米ドル)	3 405	3 248
	純利益(百万米ドル)	244	193
	直接利回り(年率%)	3.5	3.4
	株主資本利益率(年率%)	16.1	11.6
コーポレート・ソリューションズ	総収入保険料(百万米ドル)	804	717
	純利益(百万米ドル)	80	55
	コンバインド・レシオ(%)	90.4	99.6
	株主資本利益率(年率%)	13.5	10.1
ライフ・キャピタル	総収入保険料(百万米ドル)	603	652
	純利益(百万米ドル)	321	73
	総キャッシュフロー (百万米ドル)	-25	336
	株主資本利益率(年率%)	21.2	3.9

¹ プリンシパル・インベストメントを含むグループ項目も反映しています。

² スイス・ソルベンシー・テスト(SST)比率は2016年および2017年の年率換算値です。記載されている2016年の値223%には、2017年1月1日付でFINMAが施行した算出方法に関する直近の変更を反映するために調整が加えられています。これに基づいて算出した場合、2016年のSST比率は261%となります。

スイス・リーについて

スイス・リー・グループは、再保険、保険、その他保険ベースのリスク移転で世界をリードする大手再保険会社です。直接、またはブローカーを通して、世界中の保険会社、中規模企業から大企業、公共部門のお客様にサービスを提供しています。あらゆる保険種目の標準商品からテイラーメイドの商品までを携え、スイス・リーは、その資本基盤と、事業や発展に付随するリスクを負うことを可能にするための専門知識と革新力を展開しています。1863年にスイスのチューリッヒで創業されたスイス・リーは、世界約70カ所で事業拠点を展開しています。スタンダード&プアーズから「AA-」、ムーディーズから「Aa3」、A.M. Best から「A+」の格付けを取得しています。スイス・リー・グループの持株会社である Swiss Re Ltd の登録株式は、スイス証券取引所のメインスタンダードに準拠して上場しており、ティッカーシンボル SREN で取引されています。スイス・リー・グループに関する詳細は、ウェブサイト (www.swissre.com) をご覧いただくか、または Twitter で (@SwissRe) をフォローしていただきますようお願い致します。